

# 平成 28 年度

## 第 4 回（7 月）教育委員会定例会 会議録

日時：平成 28 年 7 月 27 日(水) 午後 1 時 10 分～午後 2 時 55 分

場所：村民センター小会議室

<出席者>

教育委員長	三澤 久夫	
教育委員長職務代理者	清水 道直	
教育委員	太田 光子	
教育委員	林 百代	
教育委員（教育長）	征矢 鑑	
（事務局）		
教育次長	藤澤 隆	
社会教育係長	西堀 英幸	
学校教育係（記録者）	伊藤 泰子	以上 8 名

### 1. 開会

### 2. 教育委員長あいさつ

先週、下伊那の毛涯章平先生が亡くなりました。私は教員になって 4 年目の時に、藤澤小学校で 1 年間だけ一緒しました。私にとって教師としての在り方を、その姿から教えていただいた先生でしたので、葬儀に行ってまいりました。今でも思い出すのは、毛涯先生が藤澤小学校の校長から、長野附属中学校の校長としていかれる朝、引っ越しのお手伝いに来ていた村の方々が、藤澤の谷を高遠方面に南下していく先生の車が見えなくなるまで、ずっと手を振って見送っていた姿です。この一場面に信州教育の真髄を見た思いがしました。若い時に、人生の師として尊敬する人に巡り合えたことは、一生の宝であったと感謝しています。先生の教えは、藤澤小学校を出られる離任式の朝、一年生の女の子が「ふきのとう」を 5 個校長室へ持ってきてくれたことから題名がついている「ふきのとうの饞別」や「ただひたすらに」・「肩車にのって」に書かれています。是非、読んでいただければと思います。など述べられた。

### 3. 議案件

#### (1) 準要保護の認定について

<教育次長>「別添資料」について説明。

申請件数 2 件

#### 【審議結果】

申請通り 2 件認定することに決定。

(2) 6月村議会定例会一般質問答弁の検討事項について

<教育次長>

6月定例議会一般質問で、「検討」及び「実施」する旨を答弁した項目の処理状況報告書です。2人の議員から3項目について検討事項があり、答弁内容、課題・問題点、対応内容をまとめたものです。山崎議員から「文化財を保護、活用するためにボランティア団体の育成を」という質問に対し、「村内にある文化財の保存、活用に関係する団体の情報交換の場も検討したい。」旨、教育委員長が答弁をしました。対応内容としまして、各団体への意向調査を実施する予定です。また、加藤議員からの質問の中で、「1 学校給食センターについて（生徒増加に対応できるのか）」につきましては、対応としまして、「プロポーザル方式など専門的な検討が必要と思われるため、平成28年度第1回総合教育会議にて必要な予算を次年度で計上されるよう要請した。」とまとめました。「2 キャリア教育推進事業計画について（小・中学校に大芝高原学校林を学習の場として活用を）」という質問に対しましては、「今後、村の歴史を学ぶ機会として、大芝高原の学校林を「学習の場」としてどのように活用できるのか検討していきたい」と答弁をしました。対応は、「学校林を「学習の場」として活用できる総合学習を各小学校で取組むよう要請していく。」ということでもとめた旨を説明。

【審議結果】

提案通り決定。

<教育委員長>

議会の課題・問題点、対応内容をまとめていただきました。今後、こういったかたちで報告をしていただきたいと思います。との意見が付された。

(3) 新聞記事掲載のための協定について

<教育長>

「学校だより」などへの新聞記事掲載の協定について」というタイトルがついています。「学校だより」等は、新聞記事を使用することが多いです。本来なら、新聞社の許可を得なければなりません。信濃毎日新聞社から協定を結んでほしいという提案がありました。別紙Ⅱに協定の文書があります。「児童生徒の言語活動充実と新聞活用に関する協定書」は、第1条が目的、第2条が記事の活用、第3条が二次使用の許諾が必要なものとなっています。第3条にありますように、学校等が二次使用する場合は、あらかじめ著作権者の許諾を得なければならないとなっていて、読者や社外の人、社外の団体等が甲、乙、丙に寄せた原稿や投稿、文芸作品、美術作品、写真等となっています。別紙Ⅲをご覧ください。飯田市教育委員会と協定を締結したことを伝える記事となっています。飯田市教育委員会教育長は、「学校の情報を保護者や市民に分かりやすく伝えていくために、新聞記事は有効。積極的に活用していきたい。」と述べられています。次の別紙Ⅳをご覧ください。信濃毎日新聞社へ協定締結連絡票を送付すれば、締結が完了します。ご意見をお願いします。

<太田委員>

以前トラブルはありましたか。

<教育長>

問題になったことはありません。

<教育委員長>

以前は、いろいろな新聞社の記事をそのまま掲載していました。今回は、信濃毎日新聞社との締結となっていますが、今後はその他の新聞社との締結も必要になってくると思います。こういったものが定着していけばよいと思います。8月8日(月)の市町村教委と県教委との懇談会の全体会で、足並みを揃えてということにしたいと思います。

などの質疑応答がなされた。

【審議結果】

協定を締結することに決定。

#### 4. 報告・確認事項

##### (1) 三校研修会について

<教育長>

三校研修の感想を抜粋した資料について説明。

<教育委員長>

この内容では、三校研修会の在り方を何も検討していないと思います。当面の教育課題を検討するということになっていました。学校の先生方と私たちとは、危機感が違います。子どもたちを半日で帰しますので、それにふさわしい内容が必要ではないでしょうか。全教職員に徹底していただきたいものです。

<教育長>

南部小学校では、富山市の小中学校視察の勉強会をしていることが書かれていました。

<教育委員長>

あいさつの中で話しましたが、少なくともやって欲しいことを、家庭学習の在り方等、自分で考えて何か考え方を変えなければいけないんだということを、参加されたみなさんは気付いたと思います。

<林委員>

グループトーク等、意見交換ができて良いと思いますが、その後どうしていくのか。「ノーメディアの日」のこともそうですが、では、どうしてこういう方向性がでていなくて残念でした。

<職務代理人>

メディア・表現力等について、それぞれの立場での発表は、参考になると思いますが、土台となるようなものがあって、意見を出し合い方向性を出せればと思いました。

<教育委員長>

本村の教育課題の共通認識・方向性を考えていただきたいと思います。「学級力」について学ぶということで、新潟大学の教授を招いて、講演を聴くのもよいと思います。しっかり実践していく切実感をもってやっていく姿勢が必要だ

と思います。例えば、「家庭学習の手引き」を、小・中学校を一冊にまとめる等です。

＜太田委員＞

研修会は欠席でしたが、視察をした小中学校は、強い指示にみんなが同じ方向を向いている姿がありました。上に立つ人がしっかり方向を指示する。三校の校長会で、同じ方向に向かっていく指示を確認して実践すればよいと思います。

＜教育委員長＞

指導力が欠けていると思います。皆様のご意見を、先生方にお伝えしたいと思います。

＜職務代理者＞

毛涯校長先生のような方が、学校にいらっしゃればよいのですが。

＜教育委員長＞

共通課題の認識が、三校それぞれ違っているようですので、教育長は、校長・教頭にしっかり学校経営をしていくよう指導をして欲しいと思います。

＜林委員＞

三校研修会の時、個性が強い先生が多いので、右を向いてと言われても無理という声を聞きました。

＜教育次長＞

私も学校へ行って様子を見ていますが、担任が子どもたちを席に着かせることは難しいと思いました。認識を共有することは大切ですが、教育委員と校長（先生方）との意見交換の場があっても良いのではないのでしょうか。

＜教育長＞

教育委員長のよう、毛涯先生との出会いがあればよいのですが。

＜教育委員長＞

出発点がバラバラで、課題に対する共通認識もバラバラです。もっと徹底して欲しいと思います。

＜職務代理者＞

職員会は、連絡事項だけで終わってしまいますので、意見交換をする場がほとんどありません。学年会の時くらいしかないと思います。

＜教育長＞

話合いの機会を設けてみたいと思います。

などの意見が出された。

(2) 児童・生徒数（7月1日現在）について

＜教育長＞

資料4に基づき、7月1日現在の児童・生徒数について説明。

(3) 事故報告

事故報告なし。

(4) 福祉教育常任委員会との懇談会について

会議資料5に基づき説明。

<教育長>

南箕輪小学校からお願いします。「本校の様子について」ということで、「1 児童の出欠状況・2 特別支援学級等の現在の様子・3 学力向上に向けた取り組み・4 生徒指導に関して・5 二学期に向けて・6 要望・お願い」となっています。南部小学校ですが、特別支援学級の現在の様子、学力向上に向けた取り組みの中で、「県外視察・富山県に学ぶ」といった報告項目があります。生徒指導に関してでは、「(1) 一学期のまとめ (2)夏休みの生活の問題について」ふれています。また、職員に健康状況についての問題、二学期に向けて等、オーソドックスにまとめてあります。続いて、南箕輪中学校をお願いします。「学び合い・磨き合い・認め合い」を通して、より真善美なるものを求め、地域とともに歩む学校をめざしています。小中(高)連携では、三校で「家庭学習のあり方検討委員会(仮称)」を立ち上げ、検討をスタートして2年目となりますので、「村の子どもを育てる」という視点を大切に、ある程度統一した内容で三校から家庭に提示し、呼びかけていく予定です。また、毎月23日は「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」と設定して、徹底を図りたいと思います。今年の放課後学習は、10月から行いますのでよろしくお願いします。懇談会は、8月5日(金)午後3時から役場3階にあります第1委員会室で行いますので、よろしくお願いします。以上です。

<教育委員長>

当日は、もう少し具体的に説明をしていただきたいと思います。

<太田委員>

「学級力チャート」は、どんなものかといった質問が出るかもしれません。

<教育委員長>

各校とも、重点的に発表してもらいたいと思います。また、困っていることを正直に言ってもらいたいと思います。こんな手をうっているといったことを、報告していただいてもいいと思います。会議前に、学校給食センターの現地視察を行うことになっていますが、私たちは行かなくていいですね。校長・教頭も懇談会に出席するということがよろしいか。

<教育長>

そのとおりです。

以上、説明及び質疑応答がなされた。

(5) 7月事業報告・8月事業計画について

<教育次長>

資料5(7月事業報告・8月事業計画)に基づき説明。

(6) 8月(9月)定例会日程について

8月定例会:8月23日(火)午後1時30分~

9月定例会:9月23日(金)

以上の日程で開催することが確認された。

(7) 平成28年度第1回総合教育会議資料について

平成28年度第1回総合教育会議資料(別紙)について説明。

<教育次長>

協議事項1

南箕輪村学校給食センター施設の計画検討結果について

協議事項2

教員住宅について

<教育委員長>

2項目以外に話題にすることがありましたらお願いします。南箕輪村学校給食センターは、何年度に完成していればいいのか。

<教育長>

平成34年がマックスで1,386食、平成30年度が1,382食、平成29年度が1,380食になると思います。38人のアレルギー食が大きな問題になっています。平成30年に完成というのが望ましいと思います。

<教育委員長>

平成29年度予算で、アレルギー食対応等の検討をしていただきたいと思います。

<教育次長>

専門的な見地や判断が必要ですので、提案型の設計費用の予算を計上していくということをお願いしていきたいと思います。

<教育委員長>

「1・2のパターン」のコストを提案していただくということですね。プロポーザル方式による提案型の設計費用の計上を、村長に要請をするということによってよろしいか。

【異議なし】

(8) その他

<教育長>

- ① 「市町村教委と県教委との懇談会」提案・要望について
- ② 中間教室通室依頼について
- ③ 木島平村教育長からの各部会の議論の取りまとめについて

<教育次長>

- ① 教育関係4規則の改正について
- ② スマホアプリ「ポケモンGo」についての留意事項について

以上について、報告がなされ確認された。